



半田山山開き

令和8年4月26日(日) 約700人の参加、さらなる交流・関係人口創出へ

シラネアオイの半田山愛草会による保護活動や自主的に半田銀山中舗跡周辺の除草する方など、半田山は様々な町民ボランティアによって守られてきています。

主な内容

- 第1回議会報告・意見交換会まとめ ②
- 6月定例会 ⑤
- 10名の議員による一般質問という名の施策提案 ... ⑪
- 議会モニター抱負 ②⑥



桑折町議会ホームページへ



令和8年度 第1回議会 報告・意見交換会のまとめ



町民の皆さまに議会活動をより身近に感じていただき、町政へのご意見を直接伺うため、議会報告・意見交換会を開催しました。各委員会からの活動報告に続き、学校統合、議員のなり手不足、産業振興、広報広聴活動などについて、率直なご意見をいただきました。

日時 令和8年5月28日(木) 18:30～ **場所** イコーゼ！多目的スタジオ

参加者数・地区別一覧

	桑折	睦合	伊達崎	半田	計
町民	13	8	4	8	33

ご出席いただきました皆さま
ありがとうございました。

出席議員 1 川村滋道 2 齋藤松夫 3 半沢正保 4 羽根田ひとみ 5 石幡政子
7 鈴木隆志 8 佐藤武朗 9 斉藤 謙 10 半澤 高 11 川名静子 12 原 賢志

① 議長あいさつ

- ・議会報告・意見交換会の開催の趣旨説明
- ・今後の議会日程の案内と傍聴の呼びかけ

② 委員会報告

議員のなり手不足調査特別委員会報告

- ・高齢化と無投票選挙の増加に伴う危機感の共有
- ・住民との意識共有と環境整備の必要性
- ・なり手不足の原因分析（やりがい、環境、制

- 度改善、実働時間と議員報酬)
- ・7月上旬に町民へのアンケート実施
- 総務文教常任委員会**
- ・少子化に対応した学校統合の調査
- 産業厚生常任委員会**
- ・雹被害の対応
- ・IC 周辺の開発・行政視察報告
- 広報広聴常任委員会**
- ・議会だよりの発行体制と課題共有
- ・動画配信や迅速な情報発信の検討



議会運営委員会

- ・一般質問のあり方の検証状況
- ・議会基本条例の見直し方針と9月定例会での報告予定

③ 各報告への意見交換

(1) 議員のなり手不足について

議員のなり手不足への対応として、議員定数を見直してはどうかとのご意見がありました。議会からは、各委員会活動などを考えると現在の定数でもぎりぎりの体制であることを説明しました。今後は、多様な方が議会に関心を持ち、立候補しやすい環境づくりについて検討していきます。

(2) 義務教育学校について

義務教育学校について、町民の合意形成が十分ではないのではないかとのご意見がありました。議会からは、これまで検討委員会での協議やアンケート、説明会などを経て方針が示されてきたことを説明しました。一方で、今後も町民への丁寧で分かりやすい説明が必要であり、議会としても町の進め方を注視していきます。

(3) 農作物の雹被害について

農作物への雹被害を心配する声がありました。議会からは、被害状況を確認し、必要に応じて県などへの支援要請も含めて対応を検討していく考えが示されました。農家の皆さまの不安に寄り添い、関係機関と連携して取り組んでいきます。

(4) 伊達桑折インターチェンジ周辺の開発について

伊達桑折インターチェンジ周辺の開発の進捗について質問がありました。議会からは、物流関係を含め検討されてきたものの、現在は厳しい状況にあることを説明しました。今後も、産業振興や雇用の場の確保につながる



課題として、情報収集と状況確認を続けていきます。

(5) 大かや園・福祉施設について

大かや園の老朽化やデイサービスの今後について、不安の声がありました。議会からは、施設の活用や福祉サービスのあり方について、町や関係機関の動きを確認しながら対応していくことを説明しました。利用者や地域の皆さまが安心できるよう、情報提供が重要です。

(6) 議会だよりについて

議会だよりについて、「読みやすい」との評価をいただく一方、若い世代や子育て世代にも伝わる工夫が必要ではないかとのご意見がありました。議会では、家族で読める紙面づくりや、幅広い年代に関心を持ってもらえる企画を検討し、より分かりやすい広報を目指していきます。

(7) まとめ

今回の意見交換会では、町の将来や議会活動に関わる多くのご意見をいただきました。議会としては、いただいた声を真摯に受け止め、今後の調査活動や町政への提言に生かしていきます。引き続き、町民の皆さまに開かれた議会を目指し、分かりやすい情報発信と意見交換の充実に努めてまいります。

※ 4頁に続きます。

6月定例会

●会期：6月10日(水)
～6月16日(火)(7日間)

提出議案

承認1件、条例改正5件、補正予算5件、報告3件、同意10件、陳情3件

条例改正

◆議案第26号

桑折町税条例の一部改正

内容

令和8年度税制改正の
地方税法の一部改正に伴
う改正

◆議案第27号

東日本大震災による被災
者に対する町民税、固定
資産税及び国健康保険税
の減免に関する条例の一
部改正

内容

国民健康保険税につい
て、東京電力福島第一原
子力発電所事故に伴う避
難指示等対象地域におけ
る被保険者(東日本大震
災発生後に他市町村へ転

●承認第2号

専決処分の承認を求める

内容

消防団「民報金ばれ
ん」受賞事業の諸経費を
5月14日専決処分したた
め議会に報告し承認を求
める。

出した被保険者も含む
の減免措置等に対する国
の財政支援が延長される
ことに伴う改正

◆議案第28号

国民健康保険税条例の一

部改正

内容

前年の所得に係る地方
税法に規定する総所得金
額が確定したことに伴う
令和8年度国民健康保険
税按分率の改正

◆議案第29号

介護保険条例の一部改正

内容

介護保険法施行令の改
正に伴い被保険者の介護
保険料への影響を緩和す
るため特例措置を定め所
要の改正

◆議案第30号

桑折町道路占用料徴収条
例の一部改正

内容

道路法施行令の一部改
正、及び県道路占用料徴
収条例の一部改正に伴う
所要の改正

主な歳入

項 目	補正額(万円)	適 用
国庫支出金	246	医療費助成自治体システム改修等
半田山森林環境整備基金繰入金	183	半田財産区記念碑及び除幕式経費へ充当
前年度繰越金	642	一般財源として充当

主な歳出

項 目	補正額(万円)	適 用
国土調査費	235	町道4176号線地籍調査課修正
障がい者保護費等	321	システム改修
子ども医療助成費	118	システム改修
特別会計繰出金	△133	出産一時金が県支出金措置となったため
林業振興対策事業費	230	半田財産区記念事業
消防団運営費	90	民報金ばれん受賞事業
小学校管理費	210	桑折町地域交流センター屋根修繕

補正予算

◆議案第31号

一般会計(第3号)

既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ1,071万円を追加し、予算総額を67億4,258万円とする。

④ 意見質問等アンケート(順不同)

- 委員会活動の説明が中心であったが、町政の課題をどうとらえているか。また、それに対する議会・議員としての姿勢、意見などを知らせてほしい。
- 議員活動日等から報酬がすくないのではないかな。
- 町民にもっと議員活動をピーアールしてもよいと思う。
- 議員のなり手不足のところで、サポーターという話がありましたが、若い人をまきこむ方法として有効だと思います。
- 住みたいまちづくりの視点から駅前にはコンビニ的なものがほしい。
- 議員が「アンケートで多数だった」と言いましたが、これは間違いです。すなわち間違った認識に基づく学校統合となります。
- 町民の意見を無視して決めるのは、やめたほうがよい。地方自治は民主主義の学校とならなければなりません。本当のことを大切にしてください。
- 学校設立について今まで分からなかったことがわかってよかった。
- 県は、再生可能エネルギー100%をめざしているが、町はこれにどう対応しようとしているのか。



- 次回予定の意見交換会の開催を楽しみにしています。
- 出席者が少ないと思う、PR 等対策をしてほしい。
- 今回一部の質問者が時間を使うことは残念、前もって意見を聴いておくことはできないか。
- クマ、イノシシの対策について話し合いたかった。
- インターネットで議会を見ている人は、どのくらいいるのか。一方通行なのでは？



◆議案第32号

国民健康保険特別会計
(事業勘定)(第1号)

既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ239万円を追加し、予算総額を12億1,272万円とする。

歳 出 (万円)	
総務費(機械保守・印刷製本費)	45
医 療 給 付 費 分	△ 68
後 期 高 齢 者 支 援 金 分	28
介 護 納 付 金 分	15
子ども・子育て支援納付金分	60
償 還 金	159

◆議案第33号

後期高齢者医療特別会計
(第1号)

既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ3万円を追加し、予算総額を2億6,323万円とする。

歳 入 (万円)	
繰越金	3
歳 出 (万円)	
諸支出金	3

◆議案第35号

下水道事業会計(第1号)

収益的収支

	収 入	支 出
補正前の額	2億4,372万円	2億3,368万円
補 正 額	△333万円	△394万円
補正後の額	2億4,039万円	2億2,974万円

資本的収支

	収 入	支 出
補正前の額	2億534万円	2億6,220万円
補 正 額	△1億620万円	△1億620万円
補正後の額	9,914万円	1億5,600万円

◆議案第34号

介護保険特別会計(保険事業勘定)(第1号)

既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ27万円を追加し、予算総額を16億8,123万円とする。

歳 入 (万円)	
国民健康保険税	△ 1,850
システム整備補助金	6
保険給付費等交付金	173
子どもの医療費助成事業市町村国保運営支援事業補助金	△ 40
一般会計繰入金	△ 133
繰 越 金	2,083

歳 入 (万円)	
一般会計繰入金	27
歳 出 (万円)	
一般管理費	27

主な理由…下水道管路改築工事中

止に伴う収入長期前受金戻入の減、支出減価却費及び資産減耗費の減

主な理由…下水道管路改築工事中

止に伴う収入企業債借入及び国庫補助金の減、支出建設改良費の減

町が出資している法人の経営状況報告

一般財団法人桑折町振興公社

《事業の内容》

目的 地域づくり、地場産業の振興に関する調査研究並びに開発を推進し、桑折町の振興に寄与する。

《重点事業》

令和7年度は原材料費価格高騰による物価高等の影響を受けたが、以下の視点を進化(深化)させ、桑折町ならではの地域活性化の推進に向け町等との連携の下、以下の各種事業の効果的な実施を図った。

☆視点1 6次化商品の認知向上による地域振興への寄与拡大

☆視点2 農業振興活動拠点施設の効果的な運営管理の実現

☆視点3 地域農業の振興・発展の実現

《主な事業》

●6次化産品開発事業

〳献上桃の郷〳桑折町の地域ブランドの強化及び公社経営基盤の強化に向けて、販路開拓・拡大の取り組みを積極的に展開した。

- ・仙台圏・首都圏等における販路開拓、拡大
- ・町内、町外物販イベント等への参加
- ・町外イベントの出店
- ・オンラインショップの強化
- ・「至福の桃」商標使用料使用契約(販売額に応じたロイヤリティ収益)
- ・大阪・関西万博へのパネル展示協力

●農業振興活動拠点施設管理運営事業

「レガールこおり」の管理運営については、施設のコンセプトである機能・役割・交流拠点として「集う〳学ぶ〳(体験・発見)の具現化を目指すマルシェ、ピザづくり体験等を実施した。

・伊達崎マルシェの開催

5月から11月まで6回開催した。

・交流会等の開催

- ①伊達崎小学校5年生の総合学習の一環として、野菜作りや地元の食材について学び、それらを利用した料理の提供により伊達崎をPRする方法について一緒に考えた。また、地域資源を生かした集客交流の促進に向け、生産者と連携し、桑折町産の旬な果物や野菜を使用したピザづくりの体験を楽しめる食育食農体験事業を実施した。その様子を各種メディアで紹介しPRした。
- ②その他集客イベント
桃の収穫体験事業を実施し集客促進をはかり「献上桃の郷」の高品質桃のPRや価値向上に努めた。
- ③半田銀山新そば祭りの開催
半田銀山そばの会とタイアップした新そば祭りを開催し、350名の来場者があった。桑折町の食の魅力を発信し地域振興に努めた。

土地開発公社桑折町事務所

令和7年度は、公共用地等の取得事業や処分事業等は実施していない。なお、平成19年度において、工業団地売却により損失が生じたが、町からの補償により借入金の返済を実施している。

損益計算書 (単位:円)

項 目	令和7年度	令和6年度
1 事業収益		
公有地取得事業収益	0	0
現年度分支払利息補助金	649,055	0
2 事業原価		
公有地取得事業原価	0	0
事業総利益	649,055	0
3 販売費及び一般管理費	7,772	7,716
事業利益	641,283	△7,716
4 事業外収益		
受取利息	17,981	3,845
5 事業外費用		
支払利息	649,055	0
経常利益	10,209	△3,871
6 特別損失		
固定資産売却損	0	0
当期純利益	10,209	△3,871

※「利益」記載欄における△表示は「損失」

令和7年度「ピザスタ」売り上げ・利用者状況

(令和7年4月～令和8年3月)

項 目	令和7年度	前年度	比較増減	対前年比
来 店 者	9,286人	9,765人	△479人	95.1%
飲食売上	26,466,514円	23,428,723円	3,037,791円	113.0%
材 料 費	8,640,870円	7,457,221円	1,183,649円	115.9%
	32.64%	31.82%	0.82%	102.6%
人 件 費	7,265,742円	6,917,565円	348,177円	105.0%
	27.45%	29.52%	△2.07%	93.0%



令和7年度 一般会計繰越明許費計算書

(令和8年5月31日現在)

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額	一般財源
02 総務費	03 戸籍住民 基本台帳費	戸籍システム及び住基システム改修事業	6,287,000円	6,287,000円	1,000円
03 民生費	02 児童福祉費	物価高対応子育て応援手当支給事業	28,497,000円	2,466,000円	0円
05 農林水産業費	01 農業費	桑折町農業用資材等高騰緊急支援事業	5,046,000円	795,000円	0円
		農業基盤整備事業	9,300,000円	9,300,000円	300,000円
06 商工費	01 商工費	こおり生活応援商品券発行事業	117,000,000円	66,289,000円	0円
09 教育費	01 教育総務費	義務教育学校設置準備事業	57,000,000円	52,250,000円	52,250,000円
		義務教育学校基本構想・基本計画策定事業	14,000,000円	14,000,000円	14,000,000円
合 計			237,130,000円	151,387,000円	66,551,000円

繰越明許費とは、年度内に使い切れないと見込まれる予算を、翌年度に繰り越して使用できるようにする制度及びその予算経費のことです。

同意

◆農業委員の任期満了に伴い、次期委員を任命するため議会の同意を求める

	住 所	氏 名
同意第1号	桑折町大字北半田字古舘	高 橋 貢
同意第2号	桑折町大字谷地字下高屋	渡 邊 英 吉
同意第3号	桑折町大字北半田字西ノ内	寺 島 智 史
同意第4号	桑折町大字上郡字宮前	大 泉 忠 志
同意第5号	桑折町字北町	佐 藤 徳 雄
同意第6号	桑折町大字下郡字遠上	佐 藤 親
同意第7号	桑折町大字伊達崎字中屋敷	岡 崎 明
同意第8号	桑折町大字成田字堰下	浅 野 国 英
同意第9号	桑折町大字松原字北向	菅 野 昭 一
同意第10号	桑折町大字万正寺字飯米場	佐 藤 孝

臨時会

第3回（令和8年4月27日）

工事請負契約の締結1件
一般会計補正予算1件

◆議案第24号

桑折町歴史観光交流センター
新築工事請負契約の締結
次のとおり桑折町歴史
観光交流センター新築工

1. 事請負契約を締結する
契約の目的
桑折町歴史観光交流セン
ター新築工事のため
2. 契約金額
274,780,000円
（うち消費税及び地方消
費税額 24,980,000円）
3. 契約の方法
条件付一般競争入札

4. 契約の相手方

住所…福島県伊達郡桑折
町大字上郡字楽10番地12
氏名…国分木材工業株式
会社 桑折支店
支店長 吉村仁一

◆議案第25号

一般会計補正予算（第1号）
既定の歳入歳出予算の総
額にそれぞれ5,623
万円を追加し歳入歳出予
算の総額を67億3,03
2万円とする。



主 な 歳 入

項 目	補正額(万円)	適 用
地域未来交付金	2,767	桑折町歴史観光交流セン ターデジタル情報発信強 化事業
財政調整基金繰入金	2,812	財源調整
福島県スポーツ振興 基金助成金	44	町民体育館網戸設置事業 充当

主 な 歳 出

項 目	補正額(万円)	適 用
文化財保護管理費	5,535	歴史観光交流センターソ フト事業・備品等整備費
体育施設維持管理費	88	町民体育館網戸設置事業



陳情審査結果



意見書は
こちらから

	陳 情 者	付託委員会	審査結果
陳情第2号 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	伊達市保原町字舟橋180 日本労働組合総連合会 福島県連合会 伊達地区連合会	議長 高橋 誠一 産業厚生 常任委員会	一部採択
陳情第4号 補聴器の購入費助成を求める陳情書について	福島市渡利字中江町66 福島県県北高齢期運動連合会	会長 齋藤 和衛 産業厚生 常任委員会	趣旨採択
陳情第7号 「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情書	福島市上浜町10-38 福島県教職員組合	中央執行委員長 酒井 和紀 総務文教 常任委員会	採 択
陳情第8号 地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情	伊達市保原町字船橋180番地 日本労働組合総連合会 福島県連合会 伊達地区連合会	議長 高橋 誠一 総務文教 常任委員会	採 択
陳情第9号 公立中学校における平和教育及び郊外学習の政治的中中立性と安全確保を求める陳情	福島市野田町字八郎内57-8 学校教育の中立と透明性を 守る福島県民の会	代表 嶋原 隆 総務文教 常任委員会	不採択

討 論 一 覧 表

賛 成	議事	反 対
国保税の算定基礎となるあん分率の改正である。給与や農業所得等は増だが、被保険者の減、一人当たりの医療費増の傾向から国保制度を維持するため、増税が必要となるが、物価高等を考慮し低所得者の負担増を抑えるため、賦課割合を昨年と同じ、繰越金1,850万円を入れることで最低限に留めた事を評価し賛成する。	かわ な 川名 しず こ 静子 議案 第28号 条例改正	かわむら 川村 しげみち 滋道 今年度から医療保険料に上積みして「子供子育て支援金」が徴収される。この財源は、保険料値上げで今年3,000円、来年5,400円と値上される。子育て世帯への支援は重要だがその為の財源を医療サービスを削減したり医療保険料に上乗せして徴収するべきではない。従ってこの議案に反対する。
先の桑折町国民健康保険税条例の一部改正への繰越金1,850万円の補正と捉え賛成する。	かわ な 川名 しず こ 静子 議案 第32号 補正予算	かわむら 川村 しげみち 滋道 高額療養制度の改悪で軽減される1人当たりの保険料は月120円、OTC 類似薬の負担増で月30円、合わせても月150円にすぎません。ペットボトル1本分の保険料軽減と引き換えに患者の命を削る大改悪予算であり、国の指導により現場で対応する担当のご苦労は理解するものの、このような予算には反対する。

一目でわかる 審 議 結 果



結果報告の
ページへ

令和8年第2回桑折町議会臨時会（4月27日）

○賛否の分かれた議案

議案名	議員名	川村 滋道	齋藤 松夫	半沢 正保	羽根田 とみ	石幡 政子	岡本 貴士	鈴木 隆志	佐藤 武朗	斉藤 謙	半澤 高	川名 静子	議 長	可 否
議案第24号 桑折町歴史観光交流センター新築工事請負契約の締結について		●	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	可決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ■：討論者

○全会一致で可決の議案

議 案 名
議案第25号 令和8年度桑折町一般会計補正予算（第1号）

一般質問という名の政策提案



6月定例会は議員10名が登壇

※青字は、質問の概要を掲載しています。

※各問答は、質問者の責任で作成した原文を掲載しています。問い合わせは、各議員をお願いします。

登壇議員	質 問 事 項
さいとう 齊藤 謙	1 義務教育学校等について ② 伊達桑折 IC 周辺の企業誘致等について ③ 財政運営等に関して
はんざわ まさ正	① 人口減少にどう向き合うか ー選ばれる町への戦略を問うー
おかもと 岡本 士	① 高橋町長の任期は令和8年9月29日までである。選挙公約の達成状況を伺う。
すずき たか隆	1 水道水の安全確保に向けた取り組みについて 2 自転車の青切符制度と交通安全教育について ③ 部活動に伴う大会、他校との交流試合による引率体制と安全確保について ④ 農産物に対する雹被害の状況と対策について
はんざわ たかし高	1 「歴史の小径」などの『こおりの小径』に代わる新たな散策・ドライブルートを選定は 2 災害時の避難所におけるペットとの「同行避難」の促進を ③ 指定ゴミ袋の値上げとそのお知らせのあり方、購入数の制限について ④ 小水力発電およびマイクロ水力発電の推進について
かわなみ こ子	① 15歳のめざす姿を実現するためバランスの取れた「知・徳・体」の育成について ② 子ども達の送迎に関する安全対策の考え方について 3 あらゆる災害から命を守る行動や安心して暮らすため自ら災害に備える事について
はねだ 羽根田 ひとみ	1 奥州こおり楽市楽座 with 盆フェスについて 2 半田山山開き次年度の計画について 3 ごみ減量のためのごみ袋の工夫について ④ 廃校となる小学校の活用について ⑤ 献上桃の郷こおりシティプロモーション首都圏進出の進捗状況について
いしはた まさ政	① 特別な支援を必要とする子どもに対応する学校教育環境の充実について ② 文化財の保護と活用の推進について 3 半田山の森林環境整備と半田山自然公園の活用と PR について
かわむら 川村 滋	① 本町の降ひょう被害について 2 桑折町の教育行政に関連して ③ 教職員の働き方改革について 4 半田山自然公園の認知度向上に関連して
さいとう 齋藤 松夫	1 行政不服審査法第2条に基づく審査請求に対する裁決書について 2 令和7年10月29日の「非公開での教育委員会開催」と「同会議録公開措置」等について ③ 上水道第5次水道拡張事業に係る国の財政支援等について ④ 熊被害への恒久的対策確立について

一般質問とは、議会で議員が行政（町長や役場など）に対して、町民の関心事や問題点について質問し、その答えを求める制度です。これにより、行政の運営状況を確認し、政策の改善や問題の解決を図ることを目的としています。

令和8年第4回桑折町議会定例会

	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	齊藤 謙	半澤 高	川名静子	原 賢志
一般質問者	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—

○賛否の分かれた議案

議案名	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	齊藤 謙	半澤 高	川名静子	議 長	可 否
議案第28号 桑折町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—	可決
議案第32号 令和8年度桑折町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—	可決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 □：討論者

○全会一致で可決の議案

議 案 名	議 案 名
承認第2号 専決処分の承認を求めることについて	同意第2号 桑折町農業委員会委員の任命について
議案第26号 桑折町税条例の一部を改正する条例	同意第3号 桑折町農業委員会委員の任命について
議案第27号 東日本大震災による被災者に対する町民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例	同意第4号 桑折町農業委員会委員の任命について
議案第29号 桑折町介護保険条例の一部を改正する条例	同意第5号 桑折町農業委員会委員の任命について
議案第30号 桑折町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	同意第6号 桑折町農業委員会委員の任命について
議案第31号 令和8年度桑折町一般会計補正予算（第3号）	同意第7号 桑折町農業委員会委員の任命について
議案第33号 令和8年度桑折町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	同意第8号 桑折町農業委員会委員の任命について
議案第34号 令和8年度桑折町介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）	同意第9号 桑折町農業委員会委員の任命について
議案第35号 令和8年度桑折町下水道事業会計補正予算（第1号）	同意第10号 桑折町農業委員会委員の任命について
報告第1号 令和7年度桑折町緑地明許費繰越計算書について	発委第2号 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書（案）
報告第2号 町が出資金を出資している法人の経営状況等を説明する資料の提出について（令和7年度一般財団法人桑折町振興公社事業報告等）	発委第3号 「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書（案）
報告第3号 町が出資金を出資している法人の経営状況等を説明する資料の提出について（令和7年度福島地方土地開発公社桑折町事務所事業報告等）	発委第4号 地方財政の充実・強化を求める意見書（案）
同意第1号 桑折町農業委員会委員の任命について	所管事務調査報告について
	桑折町議会議員の派遣について
	閉会中の所管及び所掌事務調査の申し出について

※報告は採決なし





はん ざわ まさ やす
半沢 正保 議員

質問 人口減少にどう向き合うのか

答弁 持続可能なまちづくりを進める

問 義務教育学校設立によって、どのような教育の質向上を実現し、子育て世代への訴求力を高めていくのかを伺う。

答 桑折町教育大綱基本方針『みんなで子育て・教育に携わり、「子育てするなら桑折町」「桑折ならではの質の高い教育」と評価されるような乳幼児保育・教育や学校教育の

問 本町人口減少の現状認識と将来の見通しを伺う。

答 町長 令和7年度の将来展望11,016人を約300人下回っており、大変厳しい状況にあると受け止めている。今後さらに人口が減少した場合、税収減による行財政運営の硬直化、地域経済の縮小化、生活環境の悪化、教育環境の不安定化など、課題が顕在化していくものと捉えている。

町の人口ビジョンを令和7年国勢調査速報値を元に補正人口作成

年	町想定人口	補正の人口	差
2026	10,920	10,612	▲308
2030	10,537	10,240	▲297
2040	9,569	9,299	▲270
2050	8,737	8,490	▲247
2060	8,108	7,879	▲229

補正方法
2025年の町の想定人口 **11,016人** に対し、令和7年速報値が **10,705人** だったため、補正率を次のように設定しました。
10,705 ÷ 11,016 = 約97.18%
町の将来展望人口を全体的に約 **2.82%** 下方修正しました。

人口ビジョン補正の必要性

問 人口減少問題にどう取り組んでいくのか。町長の決意を伺う。

推進を通して、子育て支援の充実と「桑折町の15歳のめざす姿」の実現に努める」を核として、選ばれる学校となるよう教育の質向上を図り、子育て世代の転入し寄与していく。

答 町長 人口減少問題は、もはや本町のみならず、我が国全体が直面する大きな潮流であり、今後も避けては通れない政策課題であると受け止めている。

私は、引き続き、総合計画の着実な推進を通して、「子どもたち夢を、若者に希望を、

現役世代に豊かさを、そして高齢者にやすらぎを」をスローガンに掲げ、「桑折人」としての矜持（プライド）と気概を次代へと紡ぎながら、みんなが幸せを実感できる元氣なまち「こおり」の実現に向け、全力で行政執行にあたっていく。



幸せが実感でき、持続可能となるまちへ（2025撮影）



さい どう けん
齊藤 謙 議員

質問 伊達・桑折 IC 周辺のインフラ整備は

答弁 民間主導による事業者の経営判断

問 三角地区に企業誘致を進めているようだが、その進捗状況は。

答 町長 民間主導による開発が進められてきたものの、企業誘致が難航していることから「第2期福島県県北地域基本計画」との整合性を測ることが難しい状況にある。

問 三角地区のインフラ整備事業は仮称観光センター設置の為の実質公債費が10%を超える予想があるため、インフラ整備事業は中止すべきである。

答 町長 開発事業については、民間主導であることから、事業の推進、変更、または中止の判断は、事業者の経営判断に基づく。

質問 義務的経費のバランスを

答弁 相互的に勘案する

問 財政運営等に関して、原油の入荷がイラン戦争により、思うように進まないでいる。因って、諸物価の高騰が予想される。国内外とも四苦八苦している状況にある。桑折町も同様と思われる。桑折町は義務的経費の改善策を講ずる必要がある。扶助費は類似団体と比較しても低い状況にあるため、町民の税収をもっと町民の為に使う必要がある。

答 町長 義務的経費は引き続き、経常収支比率や実質公債費比率、将来負担比率などの複数の財政指標を総合的に勘案し、社会保障需要の増加と財政の持続可能性のバランスを考

慮しながら適正な額を確保していく。

これも 質問

問 義務教育学校の住民合意は「設置だより」で知らせている

性 質 別 歳 出 の 状 況		(単位：千円・%)			
区 分		決 算 額	構 成 比	充 当 一 般 財 源 等	経 常 経 費 充 当 一 般 財 源 等
人 員 費		1,467,954	23.0	1,245,415	1,213,811
うち 職 員 給 費		805,677	12.6	684,710	-
扶 助 費		741,738	11.6	331,905	175,071
公 債 費		442,706	6.9	420,986	418,857
内 元 利 償 還 金	{ 元 子	430,425	6.7	410,036	407,907
借 入 金 利 子		12,281	0.2	10,950	10,950
義 務 的 経 費 計		2,652,398	41.6	1,998,306	1,807,739
物 件 費		1,195,529	18.7	894,512	716,332
維 持 補 修 費		51,167	0.8	47,613	41,177
補 助 費		879,136	13.8	764,804	558,447
うち 一 部 事 務 組 合 負 担 金		339,438	5.3	339,438	339,430
繰 上 げ 出 金		577,266	9.1	481,224	364,100
積 立 金		157,158	2.5	21,343	-
投 入 資 金		43,500	0.7	13,500	-
前 年 繰 上 げ 金		820,676	12.9	253,846	-
うち 人 員 費		35,180	0.6	35,180	-
普 通 建 設 費		820,676	12.9	253,846	-
うち 補 修 費		456,242	7.2	35,384	-
災 害 復 旧 費		353,238	5.5	215,066	-
出 発 費		-	-	-	-
計		6,376,830	100.0	4,475,148	4,750,865

義務的経費のバランスを（令和6年度決算カードより）



鈴木 隆志 議員

質問 部活動引率体制に伴う安全確保は

答弁 計画に則り校長の許可のもと実施

問 大会等の校外活動に伴う移動手段と引率体制の安全確保に向けた取り組みは。

答 教育長 校外部活動については、通常、引率教師の車に同乗させることなく、それぞれの保護者が車で、現地集合しており、中体連や音楽祭などの大会やコンクールに参加する際は、民間貸切バスで各部ごとの教師が同乗して引率し安全確保に努めている。

問 部活動引率による安全管理体制は。

答 教育長 引率体制については、各部の顧問から提出された大会参加計画に則り、校長の許可のもと安全確保に努めている。



引率者による点呼・確認のもと、安全に出発

問 校外活動時の児童生徒の安全の確保について作成している「危機管理マニュアル」の保護者への説明は。

答 教育長 PTA総会等の機会を捉え校長から、保護者に対して説明している。

質問 降ひょう被害に対する町の対応は

答弁 支援パッケージでの対応を進める

これも質問

問 水質検査基準値超過時の水道水の供給確保は

答 配水系統の切り替えで供給体制確保している

問 自転車青切符制度導入に伴う制度周知指導は

答 広報等での周知と交通ルールの指導に努める

問 降ひょうによる農産物被害に対する町の対応は。

答 町長 果実の生育の今後の推移を見守るとともに、規格品及び被害果の予想収穫量等を勘案しながら農家の減収が最小限にとどめられるように、県及び両農協との方針等を協議して対応していく。

問 農産物被害農家の営農継続に向けた町の支援体制は。

答 町長 被害農家が営農継続に向け来年度以降の再生産に取り組む意欲を失うことのないよう、県に強く要請した結果、今月8日付けで、支援パッケージが示されたことから、両農協と連携し農産物被害に対応していく。

問 農産物の規格外やキズ物に対する販売促進に向けた対応は。

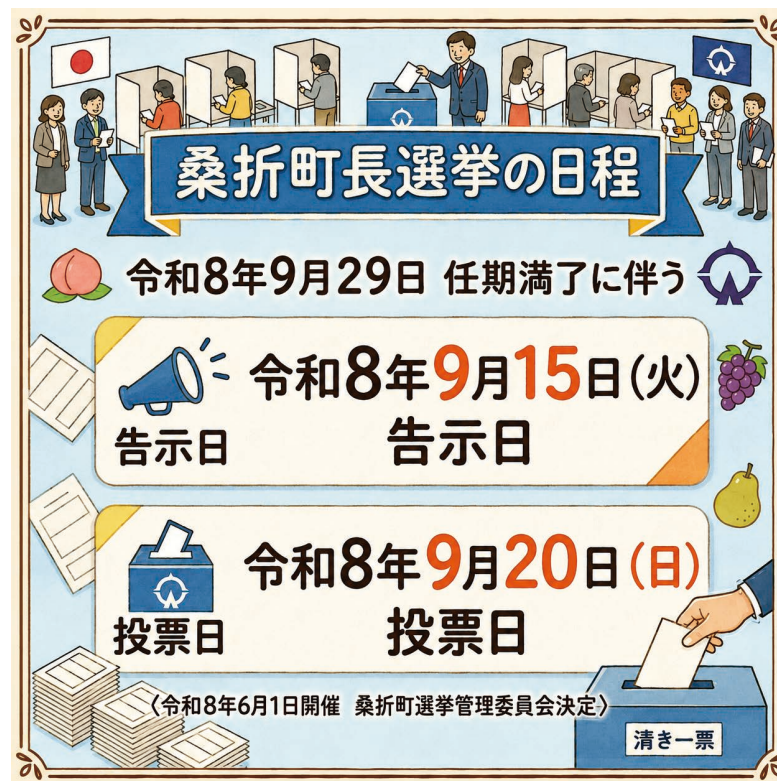
答 町長 市場でどのように販売していくのかについては両農協と意見交換しながら対応していく。



岡本 貴士 議員

質問 選挙公約の達成状況を伺う

答弁 概ね高い水準で達成



問 令和8年9月で任期満了となるが、4期目に掲げた選挙公約の達成状況を伺う。特に成果のあった施策と、課題が残る施策をどう認識しているか。

答 町長 公約は「6恵6幸こおり 未来プラン」の着実な推進を掲げ、邁進してきた。福

問 島蚕糸跡地の活用、給食費完全無償化、「献上桃の郷」を活用した農業所得向上など、住民の心地のよい町として高い評価を得るに至った。概ね達成は高いところにあると評価している。

答 町長 最も成果が上がった施策と、課題が残る施策は何

問 十数年未利用だった福島蚕糸跡地の活用が、最大の成果である。一方、伊達桑折インターチェンジ周辺は、企業誘致が難航し課題が残る。深刻な少子化と人口減少への歯止めが、将来における重大な課題と捉えている。

答 町長 義務教育学校の基本構想・基本計画の決定、(仮称)歴史観光交流センターの建設推進、降ひょう被災農家への支援、有害鳥獣対策の強化など、喫

問 任期満了までに取り組むべき課題は。

答 町長 義務教育学校の基本構想・基本計画の決定、(仮称)歴史観光交流センターの建設推進、降ひょう被災農家への支援、有害鳥獣対策の強化など、喫





かわ な しず こ
川名 静子 議員

質問 目の酷使は視力低下になるのでは

答弁 2時間以内を望む指導をしている



大切に使いこようね！

問 体力面で「走・投・跳」のバランスはとれているか。

答 教育委員会が目標は学年平均が県平均を上回る事だ。

答 教育長 本町小学生の裸眼視力1・0未満の割合は27・4%、県の40・2%より低い。中学生が62・0%と高い事から長時間連続使用を控える指導をしている。

問 15歳のめざす姿を実現するため「知・徳・体」のバランスが取れた育成がなされているか。

答 教育長 昨年の学力テスト結果を踏まえた具体的指導と目標は。

問 ストレスを踏まえた具体的指導と目標は。

答 教育長 敏捷性、瞬発力、柔軟性は全国平均より優れたが小・中学校共走る種目が課題となったことから、各校の実態に合わせ全校で走る時間を設定した。タブレット導入による効果が入る一方視力低下に繋がっていないか。また予防への事例「三神ストレッチ」等を探り入れている。

問 入による効果が入る一方視力低下に繋がっていないか。また予防への事例「三神ストレッチ」等を探り入れている。

答 教育長 敏捷性、瞬発力、柔軟性は全国平均より優れたが小・中学校共走る種目が課題となったことから、各校の実態に合わせ全校で走る時間を設定した。タブレット導入による効果が入る一方視力低下に繋がっていないか。また予防への事例「三神ストレッチ」等を探り入れている。



はん ざわ たかし
半澤 高 議員

質問 指定ゴミ袋の値上げはなぜ

答弁 ナフサ不足による原材料価格高騰



指定ゴミ袋の供給は？

問 7月から指定ゴミ袋が値上げになるが、中東情勢の混乱によるナフサの供給不足が主な要因なのか伺う。また、ナフサが十分に供給されるまで回復したときには、値下げはあるものなのか伺う。

答 町長 指定ゴミ袋の価格改定については、伊達地方衛生処理組合から「ナフサ不足に伴う原材料価格の高騰によるものであり、ナフサの調達状況が回復した際には、ゴミ袋供給事業者と改めて協議を行う」と説明を受けている。

問 一部店舗での指定ゴミ袋の在庫が少なくなっているが、購入できなかった場合の対応は考えているのか。

答 町長 伊達地方衛生処理組合において、6月30日までの臨時措置（透明または半透明の袋などにマジックなどで排出するごみの種類を記載して出す）を講ずることとした。

これも質問

問 部活遠征時の保護者送迎の責任は誰が負うのか、学校と協議し検討する。

質問 安全安心に暮らせる災害対策は

答弁 自助・共助を含め対応していく

問 降雹被害によるふるさと納税返礼品への対応とその一翼を担っている被害農家への早急な支援は。

答 町長 桃は対応可能だがブドウは一部出品を見合わせる。支援は両農協と連携し対応する。

問 更新されたハザードマップを活用し防災士が活動する拠点が必要では。

答 町長 防災士の高い専門性を発揮し活躍できるよう登録制度による組織化が重要と捉え調査する。

問 有害鳥獣対策の進捗は。

答 町長 生活圏への侵入防止策、緩衝帯整備事業に着手し、10町内会侵入防止策の適正管理を協力依頼した。

質問 小水力発電に関する調査は

答弁 調査したが事業化は困難と判断



かつて半田銀山には

問 「桑折町再生可能エネルギー導入推進計画」では、水力の有効利用としてマイクロ水力発電の導入に向け、県の事業等を活用して産ケ沢川等のポテンシャル調査等に取り組みとあるが、調査はどのように進められているのか伺う。

答 町長 小水力発電については、うぶかの郷周辺の産ケ沢川において、令和4年度に県の「福島県地域再生エネルギーポテンシャル調査事業」を活用し、調査を実施した経過があるが、当時、費用対効果の面から事業化は困難と判断した。

問 新たな散策・ドライブルートの選定は「歴史観光交流センター」プレオープンまで災害時におけるペットとの同行避難は今後、対応について調査・研究する

答 町長 新たな散策・ドライブルートの選定は「歴史観光交流センター」プレオープンまで災害時におけるペットとの同行避難は今後、対応について調査・研究する

これも質問



石幡 政子 議員

質問 特別支援学級の支援体制は

答弁 特別支援学級の体制は充実している



しっかりと寄り添う特別支援

問 在籍児童生徒の急増による教室、教員不足が懸念されるが、本町の現状は、また今後増加を予測した体制整備について伺う。

答 教育長 特別支援体制は現在教室、教員ともに充足している。今後対象児童生徒が増加した場合は迅速に対応できる体制を確保している。

問 支援を必要としている児童生徒に対し教育支援計画は形骸化していないか。

答 教育長 担任が一人ひとりの計画を保護者の意見も参考にしながら支援ソフトを活用して作成している。個人の成長に合わせ常に実態に合った目標を設定し、指導にあたっている。

問 通常学級との連携の質を高め合理的な配慮はなされているか。

答 教育長 授業を通じて担任同士や支援員が情報を共有しながら個別の指導計画に基づき合理的配慮に努めている。

これも質問

問 半田山森林整備と公園のPRは計画的な森林整備とイベント実施でPRする

質問 旧伊達郡役所の今後の活用は

答弁 芸術性の高いものを企画していく

問 チケット販売方法は初めてインターネットを利用したが問題はなかったか。

答 教育長 過去の実績を参考にしたが、今後の利活用に向けた実証実験としては、一定の成果を収めたと思える。

問 150の席数は妥当であったか。

答 教育長 過去の実績を参考にしたが、今後の利活用に向けた実証実験としては、一定の成果を収めたと思える。



文化財の利活用をすすめる

問 円滑な販売に繋がった。アンケートを実施したがその内容について伺う。

答 教育長 「郡役所の空間とクラシックの調べが相まって美しかった」「一流の演奏家の演奏を今後も開催してほしい」等高い評価と今後の期待が寄せられた。



羽根田 ひとみ 議員

質問 新たなシティープロモーションは

答弁 有楽町駅の大画面と全国放送で



有楽町駅前大型ビジョン

問 献上桃の郷こおりシティープロモーションは昨年まで仙台圏を中心に進め効果があつた。今年はそれに加え首都圏にも進めるとのこと。期待をしている。大型ビジョンはいつからどこで放映されるのか。

答 町長 7月6日より東京有楽町駅ビックマルチビジョン・13日より仙台駅Biviビジョン・20日より仙台駅エスパルビジョンでそれぞれ2週間放映する。また有楽町駅で物販も行う。

問 全国放送のテレビ番組は何か。いつ放送され、どのような内容か。

答 町長 現在、具体的な内容は明らかにできないが、7月下旬、全国ネットの休日朝の人情情報番組で、桃を中心とした本町の魅力を発信する内容だ。後日周知する。

問 楽天イーグルス観覧企画に子どもを参加させることについては進んだのか。

答 町長 10名の子どもが選手と一緒に入場。始球式では町内野球チームの選手に授けてもらう準備をしている。

質問 廃校舎の活用法広くアイデアを

答弁 民間も視野に検討する提案を頂く

問 2030年に義務教育学校が開校予定であり、4つの小学校は廃校の見込みだ。他自治体では、廃校施設を町による管理だけでなく民間事業者や個人による活用事例がある。より良い活用法を検討するために、早い段階から町民や民間業者などから幅広くアイデアを募集してはどうか。

答 町長 老朽化の状況や維持管理費用、地域の実情などを総合的に勘案し、民間による利活用の可能性も視野に検討する提案を頂く。

問 廃校は卒業生にとつてさみしい思いをされる。校歌の歌碑を作ってほしい。

答 町長 そのように考えている。

これも質問

問 8月29日開催盆フェスは町民参加型に多くの方に参加してもらうために団体賞も半田山山開きノベルティ・スタンプラリーは好評だったため来年も実施。数は同じでゴミ軽減意識改革の為小さいサイズのごみ袋を小さな袋に対する需要は無いので考えていない



さいとうまつお 齋藤 松夫 議員

質問 料金据え置き第5次拡張事業を

答弁 国補助等は基本計画策定後に検討

令和8年度 上下水道関係予算の概要

- I. 令和7年度 上下水道関係補正予算の概要
- II. 令和8年度 上下水道関係予算の概要
- III. 新規事項
- IV. AB-Cross（上下水道一体革新的技術実証事業）

時期を失せぬ情報収集で水道料金コスト抑える対策を

総務省繰出基準等が適用されるか否かについて県と協議することとなる。基本計画策定事業費は、総務省の繰出基準の対象外で交付税措置はない。

問 第5次水道拡張事業は可能な限り早期着手とすべきだ。同時に、水道料金引き上げを招かない財源対策が必要不可欠だ。そのためには、国庫補助及び地方交付税措置など、国からの財政支援を引き出すための取り組みが必要でありすみやかに着手すべきだ。所見はどうか伺う。また基本構想・基本計画策定事業費を一般会計で予算化した。これは水道事業への一

答 町長 第4次拡張事業の企業債償還が残っており、料金引き上げを避けるために、令和12年度に水道事業変更認可申請を行い、同13年度工事着工の予定で進めている。財源については、基本計画策定後に各種国庫補助や、



かわむらしげみち 川村 滋道 議員

質問 降ひょう被害者に具体的な支援策を

答弁 関係機関と相談し検討したい



降ひょう被害で傷ついた桃の果実



葉や枝折れで今年の収穫は見込めない葡萄畑

問 降ひょう被害の大きかった北沢地区では「桃の8割以上はやられた」という方が多い。「献上桃の郷」のブランドを持つ本町ではふるさと納税で桃は多大な貢献をしてきた。故に降ひょう被害の果樹生産農家へ、ふるさと納税で得た財源の一部を使い積極的支援策として本町の独自の災害特別融資制度や被害者への見舞金を実施しては如何か。

答 町長 両農協とも情報共有し被害実態の調査を行った。本町の被害割合38・2%、被害額4億2,530万4千円と莫大だ。次に多いのが葡萄で被害割合57%で被害額2,293万8千円だ。県の支援パッケージも示されたので本町でもどのような支援が出来るか検討したい。災害特別融資制度は考えていない。

これも質問

問 審査請求棄却の裁決書撤回を求める取消しは書面にて教示した通り

答 小中学校あり方検討報告も非公開はなぜか途中経過のため教育委員会を非公開にした

質問 人と熊住み分けの専門的知見は

答弁 相互競合により技術的に困難

問 3月定例会一般質問で、人と熊の住み分け実現のため、「緩衝帯とセットの電柵設置」を提言。その答弁を踏まえ、予算質疑の中では「杉木立構想検討」も提言した。これに対し「生物学的見地からの専門家のお話を伺ってみる」との答弁を得た。どのような知見を得ることができたか伺う。

答 町長 杉林による対策については、福島県北森林組合に専門的知見を求めたところ「樹木の相互競合により、生育不良が生じることから、技術的に困難である」との回答を得た。

質問 教職員の80時間超勤務者数は

答弁 月80時間超え教員は23名

問 80時間を超える時間外勤務を行った教職員は、医師（産業医など）による面接指導を受ける事が義務である。労働安全衛生法では本人の申し出があった場合「が義務だが近年の教職員の働き方改革に伴い多くの自治体の教育委員会や学校では「申し出の有無に関わらず80時間を超えたら全員面接を必須（実質的な義務とする）」と法律を上回る厳しいガイドラインや安全衛生管理規定を設けている。又校長や教頭などの管理職は客観的な方法で教職員の残業時間を管理し上限を超えない業務量管理が求められるが本町では如何か。

答 教育長 令和7年ではのべ23名実質11名が該当。医師の面談は行っていない。事例があった場合は人事評価の面談や業務改善のアドバイスを含む指導を行っていた。

これも質問

問 半田山愛草会の貢献について

答 景観向上や来場者数の増加に貢献いただいた宮城県色麻町義務教育学校見学の成果は「義務教育学校設置だより」で逐次お知らせする

特別委員会

議員のなり手不足調査特別委員会の状況報告

委員長 川 名 静 子

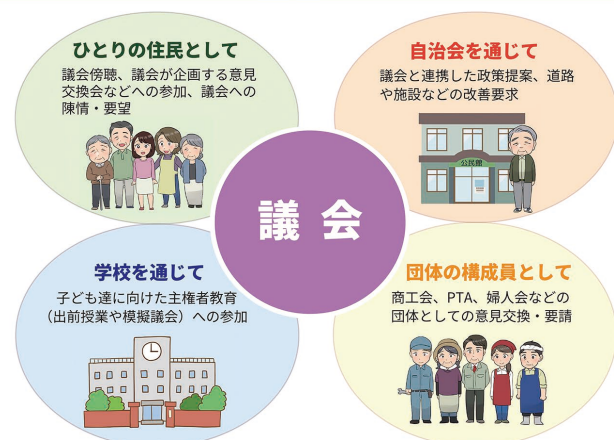
特別委員会として様々な角度から意見を出し合い議論・検討を重ねてきた。議会議員の環境整備については、スケジュールの見える化等、情報発信については、「議会だより」での広報に加え「町民会議」や「議会報告会」の開催で町民皆さまの声を聴き町政に反映させていく。また、なり手の育成については先進地 長野県飯綱町から元議会議長 寺島 渉氏に「議員のなり手不足対策と議会改革の実践」と題し講演を聴いた。内容は今私たち特

別委員会で話し合っている課題と重ね合わせて聞く事ができ有意義な講演となった。本町と大きく違うことは年間を通し、住民自治のすそ野を広げるためセミナーやフォーラムを開催実践されている事だ。大きな課題ではあるが“できる事からやろう”と皆が受け止めた。最後に特別委員会から「町民の皆さまへのアンケート調査」、今後報告書に反映させていただきます。ご協力ありがとうございました。



元長野県飯綱町議会議長 寺島 渉氏

住民のみなさんは 様々な手段で議会に対して声を届けることができます



議会は地域の重要なことを決める機関です



町村の仕事は、予算や条例に基づいて行われます。町村長は、予算案や条例案を提案しますが、これらを最終的に決定するのは議会です。また、予算がきちんと使われているかチェックしたり、新しい政策・条例を提案をしたりするのも議会の役割です。



委員会活動報告

総務文教常任委員会

委員長 斉 藤 謙

総務文教常任委員会では、委員の全会一致で郡山市立西田学園の視察を決める。早速、事務局を通して、視察を申し込み、来る7月9日(木)視察要請を受託してもらう。

参加者：総務文教常任委員全員

産業厚生常任委員会

委員長 佐 藤 武 朗

【調査事件報告】

委員会は、「伊達桑折 IC 周辺の農地利用～知名度向上と交流人口拡大に向けた」調査を実施し、6月定例会で報告した。概要については、物流施設を中心とした開発は物価高騰等により進捗が滞っている。そこで農業の6次産業化（生産・加工・流通・観光の一体化）で年間300万人もの交流人口を創出した茨城県常総市の官民連携事業の事例を視察。視察や開発業者との意見交換から、民間任せではなく「行政が明確なビジョンを掲げ主体的に関与すること」の重要性を理解した。本町の強みである農産物ブランドを核に、通過型から「滞在・消費される地域」へ転換するため、町が主導して観光や地域プロデュースに強い事業者を公募すること、また「課横断のプロジェクトチーム」を早期に設置し、具体的かつ実行可能な施策を速やかに検討することを強く求めた。本文については、議会ホームページに掲載。

【降電被害要望活動】

委員会は、令和8年5月13日に発生した降電被害について、現地調査及び被害農家さんから状況をお聞きした。また、担当課より被害状況について説明を受け、委員会として「被害を受けた生産者が安心して営農を継続できるよう、農産物の品質維持、収量確保、経営安定化に向けた技術的支援および財政的支援」を福島県県北農林事務所長へ要望書を提出した。



広報広聴常任委員会

委員長 半 沢 正 保

4月10日(金)18:00よりイコーゼ!において、第1回議会モニター会議を開催した。議長より委嘱状が10名の議会モニターに手渡され、委員長より年間予定と活動について説明がなされた。なお、最終ページに議会モニターの皆様の抱負がありますのでご覧ください。

5月28日(木)18:30よりイコーゼ!におい

て、第1回議会報告・意見交換会を開催した。議員のなり手不足調査特別委員会報告、各常任委員会報告があり、続いて積極的な意見が数多く述べられ充実した町のあるべき姿が話し合われた。詳細につきましては、2・3・4頁をご覧ください。

議会運営委員会

委員長 半 澤 高

当委員会では3月定例会の総括を経て、施政方針に対する質問および決算審議における所管別質疑、総括質疑のあり方、議案調査日を活用した議案調査のあり方について委員間での意見交換を行った。今後、全員協議会で

各議員から意見を聴取しまとめていく。また、議会基本条例に関連する実施要綱等の検証・見直しに関しては、それぞれの要綱を細かく検証していく予定である。



議会活動状況報告

◀詳しくは、こちらから

令和8年3月19日～令和8年6月16日

月 日	活 動 状 況	内 容	対象者
R 8. 3. 31	議会全員協議会	○3月定例会の総括について	全議員
R 8. 3. 23	桑折町立小学校卒業証書授与式	○式典	全議員
R 8. 4. 8	醸芳幼稚園入園式	○入園式	全議員
R 8. 4. 26	半田山山開き開会セレモニー	○セレモニー（議長祝辞）	全議員
R 8. 4. 27	議会全員協議会	○令和8年第3回桑折町議会臨時会の議事日程等について ○提案内容の説明 ○令和8年度に予定していた下水道管路改築工事を実施しないことについて	全議員
R 8. 4. 27	令和8年第3回桑折町議会臨時会	○補正予算1件審議採決	全議員
R 8. 5. 12	政務調査会総会	○令和7年度事業報告について ○令和8年度事業計画（案）について	全議員
R 8. 5. 28	議会報告・意見交換会	○議会活動報告 ○議員のなり手不足調査特別委員会報告 ○意見交換	全議員
R 8. 6. 10	議会全員協議会	○令和8年第4回桑折町議会定例会の議事日程等について ○提案内容の説明 ○令和7年度「うぶかの郷」営業状況報告について	全議員
R 8. 6. 10	令和8年第4回桑折町議会定例会	○会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告・行政報告、町長提案理由の説明、補正予算説明5件、継続審査報告2件	全議員
R 8. 6. 11	議会全員協議会	○令和8年第4回桑折町議会定例会の議事日程等について	全議員
R 8. 6. 11	令和8年第4回桑折町議会定例会	○一般質問（5名）	全議員
R 8. 6. 12	議会全員協議会	○令和8年第4回桑折町議会定例会の議事日程等について	全議員
R 8. 6. 12	令和8年第4回桑折町議会定例会	○一般質問（5名）	全議員
R 8. 6. 16	議会全員協議会	○令和8年第4回桑折町議会定例会の議事日程等について ○追加議事日程について	全議員
R 8. 6. 16	令和8年第4回桑折町議会定例会	○承認1件・条例改正5件・補正予算5件審議採決、繰越計算書報告1件、町出資法人の経営状況報告2件、同意10件審議採決、追加議案審議採決	全議員

政務活動費報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

No.	議員氏名	交付額	支出内容	備 考
1	川村 滋道	60,000	資料購入費、事務費	○調査研究費 議員が行う町の事務及び地方行財政に関する調査研究に要する交通費、宿泊費等 ○研修費 団体等が開催する研修会、講演会等への議員の参加に要する会費、交通費、宿泊費等 ○会議費 議員が行う町政に関する住民の要望、意見を聴取するための各種会議に要する会場費、機材借上費、交通費、資料印刷費等 ○資料購入費 議員が行う調査研究のために必要な図書・資料等の購入に要する書籍購入代、新聞雑誌購読料等 ○広報費 議員が行う議会活動及び町政に関する政策等の広報活動に要する広報誌・報告書等印刷費、送料、交通費等 ○事務費 議員が行う調査研究に係る事務遂行に必要な事務用品費、通信費、使用料、賃借料等
2	齋藤 松夫	60,000	資料購入費、事務費	
3	半沢 正保	60,000	資料購入費、事務費	
4	羽根田ひとみ	43,666	資料購入費、事務費	
5	石幡 政子	44,472	資料購入費	
6	岡本 貴士	60,000	広報費	
7	鈴木 隆志	59,478	研修費、事務費	
8	佐藤 武朗	37,822	資料購入費、事務費	
9	斉藤 謙	12,902	資料購入費、事務費	
10	半澤 高	60,000	研修費、資料購入費	
11	川名 静子	52,155	資料購入費、広報費、事務費	
12	原 賢志	43,965	資料購入費、事務費	
合 計		594,460		

一部事務組合議会報告

一部事務組合への令和8年度桑折町負担金予算額と前年度対比表

（単位：千円）
増減率：小数第2位四捨五入

区 分	内 訳	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増減額	増減率
伊達地方衛生処理組合	一般会計	6,649	5,850	799	14
	し尿処理	26,952	24,030	2,922	12
	ごみ処理	57,126	75,210	▲18,084	▲24
	計	90,727	105,090	▲14,363	▲14
公立藤田病院組合	特別交付税	31,298	29,684	1,614	5
	一般会計	30,000	30,000	0	0
	計	61,298	59,684	1,614	3
伊達地方消防組合	一般会計	253,288	242,010	11,278	5
合 計		405,313	406,784	▲ 1,471	▲ 0

一部事務組合とは

複数の市町村が、その事務の一部を共同で処理するために設置する特別地方公共団体のことです。

伊達地方消防組合

選出議員：川名静子・佐藤武朗

令和8年度の予算総額は、約20.8億円
で前年比13.8%減。主な歳出予算としては、人件費が13.3億円（6.3%増）、中央消防署南分署の移転新築や北分署の水槽付消防ポンプ自動車更新等を含む施設整備事業費が4.1億円（47.9%減）。なお、施設整備費やデジタル無線等の整備完了に伴う物件費の償還終了により公債費は減少している。

公立藤田総合病院組合

選出議員：斉藤 謙・斎藤松夫・鈴木隆志

『令和7年度公立藤田病院組合病院事業会計補正予算（第2号）』は既決予算額76億2,074万円の収益的収入を4億9,903万9千円減額し、71億2,170万1千円とし、収益的支出を2億5,788万8千円減額、73億6,285万2千円とした。この結果収益的収支は2億4,115万1千円の純損失となる見込みであります。

福島地方水道用水供給企業団

選出議員：原 賢志

2月25日令和8年2月定例会が開催され、補正予算、当初予算が提出され、原案のとおり可決された。

◆業務予定量

令和8年度は、年間総給水量を3,747万3,935立方メートル（同53万3,255立方メートル減）、1日平均給水量10万2,668立方メートル（同1,461立方メートル減）と見込んでいる。

伊達地方衛生処理組合

選出議員：半澤 高・石幡政子

令和8年3月30日開催の定例会では、専決処分1件、条例改正1件、補正予算2件、令和8年度各会計当初予算3件が提出され、それぞれ全会一致で可決した。また、5月12日開催議会臨時会では専決処分の報告1件を全会一致で承認した。

令和8年度 議会モニターさんの抱負

令和8年4月10日(金) 19:00より
イコーゼ！ 委嘱状交付

(50音順・敬称略)



あ べ やす ひろ
阿 部 康 宏

町政を知る良い機会と思い、お引き受けいたしました。議員のパートナー的な役割を担いたいと思います。



あん どう ひろ こ
安 藤 宏 子

町の発展のために機能する議会と町民とをつなぐ「議会だより」について、自分の考えを届けたいと思う。



い ず み ま さ し
和 泉 真 司

町のために活動されている議会に敬意を払い、より良い充実した議会になるよう意見を申し上げて参ります。



さい とう し の ぶ
齋 藤 忍

今年も出来るだけ議会を生で傍聴し、モニター同士の横の繋がりも作れたら、と思います。



さい の ひで と し
齋 野 英 利

議会の中で町の商工業への関心を高め、支援について取り上げていただけるような取り組みを行いたい。



さ とう ま さ ゆ き
佐 藤 正 幸

議会が町民にとって、どのように関わっているのか勉強したい。また、町の行事等議員の参加状況も見たい。



せ き ね た だ し
関 根 正

議会だよりを読んでいます。今後議会傍聴等に行き町行政について少しでも理解を深めたいと思います。



なか だ た く み
中 田 巧

町民の方々に「開かれたそして魅力ある町政・議会」と感じてもらえるよう意見、提案ができればと思います。



ふ か ざ わ て つ や
深 澤 哲 矢

初めて議会モニターを務めます。町民目線を大切にしながら、学び深め、より良い町づくりに役立てたいです。



む かい や ま ま さ よ し
向 山 正 良

議会だよりにはあまり関心がありませんでしたが、モニターとして今後、議会に興味を持てればと思います。

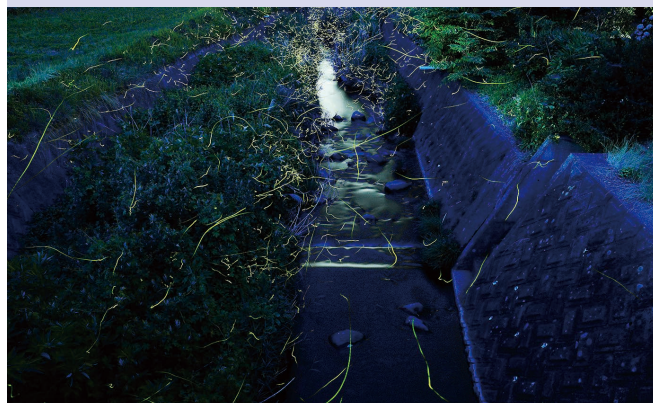
※VOL. 144春号P3の紺野さん親子の名前が逆になっていました。訂正してお詫びいたします。

編集後記

日差しが一段と強くなり、本格的な夏が到来しました。
私たち議会だよりの編集メンバーは、4年間じっくりと紙面づくりを支える委員長・副委員長と1年交代で新鮮な視点を持ち込む議員の力を合わせ、毎号「どうすれば議事を身近に感じてもらえるか」を真剣に考えています。
少しでも議会報告会に足を運んでいただけるような工夫や、パッと見て読みやすいデザインなど、毎回新しい試みに挑戦中です。
政治や行政への関心が薄れていると言われていた今だからこそ、私たちは町民の皆様のすぐそばに寄り添い、皆様の生きた声を届けられる議会だよりの発行を目指しております。
さて、来年度には議員の任期満了に伴う改選を迎えます。「大好きな桑折町のために何かしたい」「議会という舞台で新しい風を吹かせたい」——そんな熱い思いを秘めた方々にもこの紙面が届き、一步を踏み出すきっかけになれば幸いです。 佐藤 武朗

まちの歳時記

初夏の風物詩
うぶがさわのほたる



26

● 広報広聴常任委員会編集委員

委員長 半沢 正保 副委員長 石幡 政子
委員 佐藤 武朗 委員 齊藤 謙

こおりまち

議会だより

令和8年8月5日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 原 賢志

編集 議会広報広聴常任委員会

電話 024(582)2113
印刷 陽光社印刷株式会社